

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 昭和パックス株式会社
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大西 亮
 (氏名) 飯崎 充
 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 TEL 03-3269-5111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,764	1.4	473	16.3	554	22.0	372	42.3
25年3月期第2四半期	9,631	△2.7	407	△14.8	454	△16.4	261	△24.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 779百万円 (265.3%) 25年3月期第2四半期 213百万円 (18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	41.93	—
25年3月期第2四半期	29.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	21,894	10,799	47.8	1,178.48
25年3月期	20,972	10,075	46.6	1,099.55

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,469百万円 25年3月期 9,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	7.2	790	6.5	870	3.6	545	3.6	61.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,900,000 株	25年3月期	8,900,000 株
26年3月期2Q	16,220 株	25年3月期	16,220 株
26年3月期2Q	8,883,780 株	25年3月期2Q	8,884,164 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、4～6月期に続き7～9月期もGDPプラス成長が見込まれ、平成24年末に底をつけてから景気の回復傾向が持続しています。公共投資が、被災地の復興に向けた動きに加え、緊急経済対策による着工・進捗が顕現化して増勢が続きました。マインドの改善による個人消費は好調を維持し、高止まり感が出ているものの失速する気配はありません。一方で、外需は円安効果があったものの新興国の景気減速で特にアジア向けが弱い動きとなりました。

年度後半も、内需は、政策効果に加えて消費税率引上げを控えた駆け込み需要が見込まれることから、堅調な動きになることが期待されます。ただ、政策による効果が民間部門の本格回復につながっていくのか、所得環境が改善されるに至って個人消費の好調がこのまま継続するかは不透明です。また、外需については、米国の金融緩和縮小などの影響で海外経済が下振れする恐れがあります。

当社グループの主要事業は国内の生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、国内が若干の減収となりましたが、タイ昭和パックス㈱が円安効果もあって大幅な増収となったことにより、売上高は9,764百万円で、前年同期に比して133百万円の増収となりました。損益につきましては、連結子会社各社が利益を伸ばした結果、営業利益473百万円（前年同期比66百万円の増益）、経常利益554百万円（同100百万円の増益）、四半期純利益372百万円（同110百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと以下の通りであります。

①重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比△1.1%と減少しました。その他鉱産物などの一部を除き、セメント、米麦、製粉、砂糖・甘味、飼料、化学薬品、合成樹脂など主要分野で軒並み少しずつ減少しました。時期的に見ると、4～6月期は前年同期比微減でしたが、7～9月期の減少幅がやや大きくなりました。

当社は、米麦、砂糖・甘味などの用途で数量を減らしましたが、得意の化学薬品、合成樹脂用途では逆に数量を伸ばし、全体では前年比0.5%の減少にとどまりました。

子会社の売上数量は、九州紙工㈱は前年同期比で5.9%増、タイ昭和パックス㈱の第2四半期連結累計期間（1～6月）は洪水の影響が残った前年同期と比べて8.3%増加し、山陰製袋工業㈱の当第2四半期連結累計期間（1～6月）も前年同期比で3.7%増加しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,389百万円で、前年同期に対し243百万円の増収となりました。

なお、製品ラインアップの拡大と中型袋需要増に対応するために、当社東京工場およびタイ昭和パックス㈱で両底貼袋・片底貼袋製造設備の建設、当社防府工場で中型袋製造設備の建設を進めておりましたが、いずれも当第2四半期連結会計期間において完成いたしました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用は若干の増加、農業用は減少で全体ではほぼ横ばいでした。その中で主原材料であるポリエチレン樹脂の価格が値上がりし、製品への価格転嫁が遅れたため、フィルム加工業の採算は厳しくなりました。

当社の売上数量は、7～9月でやや持ち直したものの産業用、農業用いずれも減少し、全体で前年同期比△6.3%の苦しい結果でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,816百万円で、前年同期に対し134百万円の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、当第2四半期連結累計期間を通じて、除染用途などで海外からの輸入数量が前年同期を上回る状況が続いており、全体の流通量が増加していると推測されます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品は減少しましたが、輸入販売品が増加し、全体では前年同期比+3.7%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は絶対数量は少ないながら、タイ昭和パックス㈱製造品の国内販売が伸びて、全体で前年同期比+39.8%となりました。また、液体輸送用の1000ℓ内袋「エスキューブ」、20ftコンテナ内袋「エスタンク」は固定顧客がつき、ようやく安定的な収益を期待できる規模になってきました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は839百万円で、前年同期に対し42百万円の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産の内容に変動はありません。倉庫賃貸契約に一部増床があり、当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して6百万円増加し、128百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は21,894百万円で、前連結会計年度末から922百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金509百万円、有形固定資産464百万円および投資有価証券414百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金275百万円およびたな卸資産227百万円です。

(負債)

負債合計は11,095百万円で、前連結会計年度末に比べて198百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金169百万円、その他流動負債251百万円および繰延税金負債135百万円、主な減少要因は支払手形及び買掛金423百万円です。

(純資産)

純資産合計は10,799百万円で、前連結会計年度末に比べて724百万円増加しました。主な増加要因は四半期純利益372百万円と剰余金配当支払53百万円の結果である利益剰余金の増加319百万円、その他有価証券評価差額金270百万円および為替換算調整勘定111百万円によります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて502百万円増加して4,334百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は871百万円(前年同期比84百万円の収入増)となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益で554百万円、減価償却費で261百万円、売上債権の減少で306百万円、たな卸資産の減少で273百万円、仕入債務の減少で△431百万円、法人税等の支払で△117百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は428百万円(同88百万円の支出増)となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出399百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は29百万円(同39百万円の収入減)です。主な内訳は、短期借入金の借入・返済差額による収入97百万円、配当金の支払による支出53百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、連結子会社各社が順調に推移して増収増益となりました。我が国経済は中長期的には不透明さが残るものの、当面は内需主体に回復傾向が持続することが期待されます。景気の回復傾向を当社グループの収益の拡大につなげるべく、新導入設備も活用して努力してまいります。

当連結会計年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、当初の予想(平成25年5月14日発表)を変更せず、連結売上高20,000百万円、連結経常利益870百万円、連結当期純利益545百万円を見込みます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,131,954	4,641,301
受取手形及び売掛金	5,961,333	5,685,731
商品及び製品	1,348,284	1,207,067
仕掛品	87,760	112,251
原材料及び貯蔵品	1,049,061	938,615
繰延税金資産	166,065	166,196
その他	298,503	281,707
貸倒引当金	△13,410	△14,222
流動資産合計	13,029,554	13,018,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,614,376	7,024,966
減価償却累計額	△4,527,220	△4,652,411
建物及び構築物（純額）	2,087,155	2,372,554
機械装置及び運搬具	8,045,066	8,310,483
減価償却累計額	△6,846,949	△7,055,045
機械装置及び運搬具（純額）	1,198,117	1,255,438
土地	855,667	872,221
リース資産	39,592	39,592
減価償却累計額	△12,813	△15,388
リース資産（純額）	26,779	24,204
建設仮勘定	305,811	402,121
その他	624,659	652,936
減価償却累計額	△566,933	△583,855
その他（純額）	57,726	69,080
有形固定資産合計	4,531,258	4,995,621
無形固定資産		
リース資産	1,361	777
ソフトウェア	47,947	44,118
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	58,539	54,126
投資その他の資産		
投資有価証券	2,900,990	3,315,380
繰延税金資産	11,358	11,335
その他	500,745	555,905
貸倒引当金	△60,274	△56,196
投資その他の資産合計	3,352,819	3,826,425
固定資産合計	7,942,617	8,876,173
資産合計	20,972,171	21,894,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,537,550	4,113,608
短期借入金	3,076,960	3,246,480
未払法人税等	137,998	191,608
賞与引当金	298,967	313,605
役員賞与引当金	21,916	23,456
リース債務	7,497	6,966
繰延税金負債	3,506	3,907
設備関係支払手形	13,805	11,737
その他	863,454	1,115,333
流動負債合計	8,961,657	9,026,704
固定負債		
長期借入金	631,000	628,000
退職給付引当金	200,420	215,618
役員退職慰労引当金	117,713	132,268
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	6,963	6,987
負ののれん	113,992	85,494
リース債務	20,499	17,281
繰延税金負債	643,946	779,498
長期預り保証金	186,512	189,344
固定負債合計	1,935,054	2,068,498
負債合計	10,896,711	11,095,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	8,196,888	8,516,107
自己株式	△7,502	△7,502
株主資本合計	9,119,733	9,438,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	686,009	956,078
為替換算調整勘定	△37,605	74,349
その他の包括利益累計額合計	648,404	1,030,427
少数株主持分	307,323	330,238
純資産合計	10,075,460	10,799,617
負債純資産合計	20,972,171	21,894,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,631,273	9,764,686
売上原価	8,017,788	8,065,533
売上総利益	1,613,485	1,699,152
販売費及び一般管理費	1,206,292	1,225,408
営業利益	407,192	473,743
営業外収益		
受取利息	1,920	2,235
受取配当金	37,208	37,859
負ののれん償却額	28,498	28,498
為替差益	833	27,241
その他	11,210	15,977
営業外収益合計	79,672	111,812
営業外費用		
支払利息	29,604	29,578
その他	2,365	1,035
営業外費用合計	31,970	30,614
経常利益	454,894	554,941
特別利益		
投資有価証券売却益	73	200
特別利益合計	73	200
特別損失		
固定資産除却損	1,367	169
投資有価証券評価損	39,135	334
特別損失合計	40,502	504
税金等調整前四半期純利益	414,465	554,638
法人税、住民税及び事業税	148,034	169,346
法人税等調整額	1,167	380
法人税等合計	149,202	169,726
少数株主損益調整前四半期純利益	265,263	384,911
少数株主利益	3,480	12,390
四半期純利益	261,782	372,521

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,263	384,911
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△66,346	270,374
為替換算調整勘定	14,546	124,393
その他の包括利益合計	△51,800	394,768
四半期包括利益	213,463	779,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,624	754,544
少数株主に係る四半期包括利益	4,838	25,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	414,465	554,638
減価償却費	268,263	261,877
負ののれん償却額	△28,498	△28,498
長期前払費用償却額	91	116
投資有価証券売却損益 (△は益)	△73	△200
投資有価証券評価損益 (△は益)	39,135	334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,523	△3,862
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,466	14,638
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,210	1,540
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,501	14,620
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△319	14,554
受取利息及び受取配当金	△39,129	△40,095
支払利息	29,604	29,578
固定資産除却損	773	169
売上債権の増減額 (△は増加)	△107,400	306,384
たな卸資産の増減額 (△は増加)	156,795	273,923
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,664	△431,725
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△23,887	16,076
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	125,891	18,471
その他	△37,878	△21,034
小計	894,733	981,508
利息及び配当金の受取額	39,129	40,095
利息の支払額	△23,148	△32,935
法人税等の支払額	△123,652	△117,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	787,061	871,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△190,000	△241,149
定期預金の払戻による収入	180,000	241,095
有形固定資産の取得による支出	△321,667	△399,633
無形固定資産の取得による支出	△310	△21,095
投資有価証券の取得による支出	△8,682	△8,424
投資有価証券の売却による収入	102	359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,557	△428,849

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	98,000	97,000
リース債務の返済による支出	△3,748	△3,748
長期借入れによる収入	40,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,000	△8,000
自己株式の取得による支出	△385	—
配当金の支払額	△53,308	△53,302
少数株主への配当金の支払額	△3,220	△2,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,337	29,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,826	30,279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	518,667	502,260
現金及び現金同等物の期首残高	3,571,433	3,832,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,090,101	4,334,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,145,605	1,951,041	797,706	122,840	9,017,193	614,080	9,631,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,145,605	1,951,041	797,706	122,840	9,017,193	614,080	9,631,273
セグメント利益	401,490	72,766	11,596	65,394	551,247	46,541	597,789

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	551,247
「その他」の区分の利益	46,541
全社費用(注)	△190,596
四半期連結損益計算書の営業利益	407,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,389,139	1,816,094	839,737	128,880	9,173,852	590,834	9,764,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,389,139	1,816,094	839,737	128,880	9,173,852	590,834	9,764,686
セグメント利益	490,473	58,920	1,248	74,395	625,037	48,656	673,693

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	625,037
「その他」の区分の利益	48,656
全社費用(注)	△199,949
四半期連結損益計算書の営業利益	473,743

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。